

「あすか」 OPERATION REPORT Rev.5 Ver 3.1

1999 年 11 月 9 日 Y+ 2453 KSC 当番: Y. Ishisaki, T. Tamura and Y. Haba

NGC 3245 → Mrk 202 → Mkn 231

	PASS 1	PASS 2	PASS 3	PASS 4	PASS 5
Pass No.	991109-1134		991109-1340	991109-1444	
Operation	X-REP OP/OG-04 WRT TCU-MEM STAR-03 WRT S-CTLG-CHK OBSERVE ACS-ERR- RST OP-START	(YOHKOH)	X-REP STAR-04 WRT S-CTLG-CHK OBSERVE CPU2/3-STOP CPU2/3-RST GIS-MEM BDR-STOP X-REP BDR-STOP	X-REP SBR-A-RNG RNG-OFF	(HALCA)
Target	NGC 3245		Mrk202	Mrk202	
AOS(UT)	16:40:08		20:00:22	21:41:27	
LOS(UT)	16:50:57		20:13:10	21:53:45	
Max-El	16.63°		Zenith	68.96°	
Time	16:45:30		—	21:46:53	
Rep-band(stat.)	X (Complete)	()	X (Complete)	X (Complete)	()
Rep-start	16:40:49		20:00:54/20:07:10	21:42:00	
DP-mode	OBS/TCU/OBS/ACS/OBS		OBS/ACS/OBS	OBS	
ACS-mode	Normal- Pointing		Normal- Pointing	Normal- Pointing	
SUN-pos θ_s/ϕ_s	—/—		7.59°/0.66°	7.54°/0.28°	
Attitude	$\begin{bmatrix} 156.5971^\circ \\ 61.4655^\circ \\ 333.6191^\circ \end{bmatrix}$	$\begin{bmatrix} \\ \\ \end{bmatrix}$	$\begin{bmatrix} 184.1475^\circ \\ 31.2296^\circ \\ 308.6336^\circ \end{bmatrix}$	$\begin{bmatrix} 184.1475^\circ \\ 31.2296^\circ \\ 308.6336^\circ \end{bmatrix}$	$\begin{bmatrix} \\ \\ \end{bmatrix}$
OP-start(CE)	16:48:15 (00h)	()	Cont (19h)	Cont (23h)	()
GIS HAM ERR	—		—	—	
ACS ERR	(SH)MOMCHG —	Reset	—	—	
SIS-mode	F/F 1111/3333		F/F 1111/3333	F/F 1111/3333	
S0/1-TECT	-35.17/ —		-36.33/ —	-36.29/ —	
S0/1-CCDT	35.15°C -61.24/ — 60.92°C		36.27°C -61.29/ — 60.87°C	36.27°C -61.24/ — 60.87°C	
GIS-mode	PH(10-8-8-5-0-0)		PH(10-8-8-5-0-0)	PH(10-8-8-5-0-0)	
GIS LD Hit	23.9/18.6 c s ⁻¹		27.5/25.9 c s ⁻¹	27.0/27.3 c s ⁻¹	

P	X	Y	R	S	Pos	MErr	HV_HL	Gain	RT-L	RT-U	Temp	RBMT	CalPk	CalCnt	CalTim	RT Pk
10	8	8	5	0	FLF	0	3/4	48	159	218	13.6	13.6	380.09	545	14806	184.10
Pass: 991109-1134							3/4	40	159	218	7.6		403.94	496	14806	180.20

SIS Mode Changes: NGC 3245 / Mrk 202 / Mkn 231 ICCD(1111/3333) F/F, LVL OFF, ADR OFF

GIS Mode Changes: NGC 3245 / Mrk 202 / Mkn 231 PH(10-8-8-5-0-0)

Battery Condition (min/max)

BAT_V-A	BAT_V-B	BAT_I-A	BAT_I-B	BAT_T-A	BAT_T-B
18.30/23.20	18.40/23.30	-5.29/4.73	-5.81/4.76	4.82/8.74	4.55/7.61

Maneuver Operation

Start Time	Target Name	#	(α , δ)	(ϕ , θ , ψ)
11/09 19:00	Mrk 202	4	(184.4779, 58.6600)	(184.1475, 31.2296, 308.6336)
11/10 06:01	Nkn 231	5	(194.0592, 56.8739)	(193.7304, 32.9932, 300.3489)

Comment: 本日の運用:

ASCA continued to observe NGC 3245 (PI: Y. Terashima (JUS)). Counting rates are 0.01 (SIS) and < 0.01 (GIS) c/s. The pointing was moved to Mrk 202 (PI: I. Lehmann (ESJ)). Counting rates are 0.1 (SIS) and 0.06 (GIS) c/s.

T 田村君が早々に到着してくれたので、コマンドチェックもほぼお任せ、今日の受信も 1 pass 以外はやってもらいました。受信も順調でもう引き継ぐことも特にないような気がします、移動日である明日の朝まではいます。しばらく前に書いたように、テレメトリ読み出しルーチンの Y2K 問題を修正した ascacool-3.4 をリリースしました。(石崎)

KSC 文庫で懐かしい本を見つけた。シドニー・シェルダン原作の「ゲームの達人」。確か、中学に入りたての頃に読んだ気がする。もう、すっかり話の内容を忘れていたので新鮮な気持ちで読めそうだ。しかし、そこには「深夜一時半運用」の壁が……。 (幅)

昨日の昼過ぎに到着しました。朝 5 時過ぎの森野 3 丁目発町田行きのバスに乗ったらけっこう満員、羽田空港も朝から人がいっぱい、みなさん御苦勞様です (T 田村)。

さて、昨日は運用が午前 9:00 には終わったのでみなさんご存知の九州最南端、佐多岬まで足を伸ばしてみた。でも、例の落書きの多い展望台にはもう何回か行って飽きたので、今回は真の最南端を極めるという野望のもと、途中の御崎神社の鳥居の下の道から出ているわき道に入ってみた。この小径は決してよく整備されているとはいえないが、基本的に佐多岬灯台へと伸びる電柱をたどってついていて、それなりに機能はしているようだ。また、道の途中には散策路の入り口にある地図に ㊤ アジトと示されているあばら家がある。このあばら家ここにもやはり壁に落書きがなされているが、年代はやや古いものが多いようだ。そのまま灯台まで行ける事を期待したのだが、実際には灯台は岬の先の島の上であって間は断崖と 50 m ほどの海で隔てられていた。灯台に行くには沖側から船で行かないとダメなようだ。それでも展望台よりは南に来ているらしいことを手持ちの方位磁針で確認できたのでまあよしとしよう。そのあと、途中で東側の海のほうまで降りられるところがあったので降りてみたが、このへんは岩がごつごつして小さい穴のたくさんあいた独特の形をしていて歩いたり上ったりするのに滑らなくて便利だ。さすがにこんなところは誰もいないかと思ったら、そこで釣りをしている人がいて、やはり釣り客という人種はあなどりがたい。また、前日の経験から予想されたように、海は干潮だったようで、岩の間の水溜りに変に細長い魚のベアやウツボなんかが閉じ込められていた。(石崎)